

科目名		放射線衛生管理学実習	
科目責任者	岡崎 龍史	(放射線衛生管理学 教授)	
担当者	香崎 正宙	(放射線衛生管理学 講師)	
開講時期:	2年次	単位数:	4 単位
		時間数:	90分× 60 回
<p>● 科目の教育目標</p> <p>一般目標 (GIO)</p> <p>放射線衛生における放射線被曝の歴史と低線量放射線被曝の影響、医療被ばくなど放射線の課題について考えていく上で、実習をおこない、放射線の人体への影響を正しく理解する。</p> <p>行動目標 (SBOs)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 線源の違いによる放射線の種類や単位を確認する。 2) 放射線の物質との相互作用などを放射線発生装置を用いて確認する。 3) 放射線の生体影響を実験動物でおこなう。 4) 放射線の障害の歴史及び事例について対策を論じることができる。 5) 放射線防護の実習をおこなう。 6) 放射線安全取り扱いについて実習する。 7) 放射線管理の具体に実践する。 8) 検出器等を用いて放射能濃度を計測する。 			
● 評価方法	討論(40%)・発表(20%)・レポート(40%)等で総合評価する。		
● 参考文献	実習の中で必要に応じ紹介する。		

● 授業内容

内容	担当教員
選択したテーマに関して、研究手法や研究倫理などの指導を行うとともに、得られた結果の解釈の仕方、まとめ方についての実践的な指導を行う。	岡崎香崎
放射線衛生学領域を中心に、基礎的な調査方法及び統計解析法に関する研究指導を行う。	岡崎香崎
学会発表を通して、発表のまとめ方を含め、より高度のプレゼンテーション能力を身につける。	岡崎香崎